

事業所名

なないろキッズついで

支援プログラム

作成日

6年

12月

1日

事業所理念	みんなが 仲良く 楽しく 自分らしく 過ごせる「なないろキッズ」						
支援方針	チームアプローチによる一貫した支援 ・特別支援教育の経験者による専門的な支援 ・保護者との情報交換の場を大切に支援 ・多様な遊びや集団活動、生活経験や地域交流などの体験活動による支援 ・学校や関連機関と連携した支援 ・七穂会の事業所と連携した活動による支援						
営業時間	平日	10時	0分から	18時	45分まで	送迎実施の有無	あり
営業時間	学校休業日	8時	30分から	17時	15分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・インフルエンザやコロナウイルス等の感染を予防するため、検温や手洗い等をこまめに行うよう支援する。 ・来所後、手洗い→コートに着脱→連絡帳提出→学習タイム→自由遊び→おやつ→みんなでタイム→振り返り→さようならと固定した生活プログラムで活動を構成する。また、その手順を写真や絵、言葉などで掲示する。また、活動前には先の見通しが持てるような指示を出す。 ・買い物から調理、後片付けまで見通しを持たせながら利用者とカレーやオムライス、デザートなどの調理をする。					
	運動・感覚	・集団プログラム「みんなでタイム」で、外遊び（鬼ごっこ・ドッジボール、リレー、大縄など）、YouTube動画で妖怪体操やダンス、室内で風船バレーやトランポリンゴム跳び、大縄などの遊びを継続することで、体力向上につなげたり最後までゲームを楽しんだりするように支援していく。 ・聴力が鋭く、周囲が気になってしまうお子さんには、併設するコンテナハウスで過ごす時間を設ける。 ・長期休業では、定期的に体育指導員による体操教室や地域のプールでの活動を取り入れ、関わりながら運動する機会を設けている。 ・紐結びや豆運び、アイロンビーズ、ビーズでストラップ作りなど、手先を使う細かい作業を通し、出来ることを増やしていく。					
	認知・行動	・ブロック（ブロック、レゴブロック、ブロックワミー、マグネットブロック）プラバン等を使って創造力を膨らませた創作活動が出来るようにする。 ・ビジョントレーニングを取り入れ、視覚を刺激するような訓練を遊びに取り入れる。 ・しりとりや言葉集めなど語彙を増やす遊びや、時間を意識しながらの遊び等を取り入れる。・当事業所の生活プログラムをスムーズに一人で出来るように支援をしていく。 ・おやつは買い物体験を兼ねて10円、15円、20円、30円から自分で選び、50円の買い物をする。					
	言語コミュニケーション	・毎日の振り返りでは、みんなの前に立ってその日の楽しかったことを自分の言葉で話せるように支援する。 ・集団プログラム「みんなでタイム」では、しりとりや言葉集めなど言葉を用いたゲームを取り入れ、語彙を増やす楽しみを味わわせる。 ・日常生活の中で問題点をみんなで考える機会としてSSTを行う。 ・イベントの計画をみんなで話し合っ決めて、みんなが楽しめるものにしていく。					
	人間関係社会性	・法人内の放課後等デイサービス3事業所で、野菜作りや施設見学・地域のイベント・体操教室・休日のお出かけ等を共有し、利用者同士の交流を広げるようにする。 ・勝敗がつくゲームは、「勝つこともあるし負けることもある」を目標に、みんながゲーム自体を楽しめるように支援する。 ・色々な場面で気持ちを切り替えて行動できたときは、どんなところが良かったのかを周囲に伝え、褒める。 ・社会で生活するために必要なルールを体験を通して学ぶことが出来るようにする。（外出前のルール確認、活動前の手順確認、七穂会の作業所見学等） ・毎日帰りの会では「なないろ5項目」について全員で評価し合い、出来たことを喜び合う。					
家族支援	・個別支援計画の作成に基づいた保護者面談を6か月に一度確実に行う。 ・事業所での様子は、お便りやホームページの掲載でお知らせする。 ・随時、必要があれば保護者との面談や電話対応を行い、関係機関と連携しながら情報を共有する。				移行支援	・本人や家族の希望をもとに、進学や就職等、将来に向けた移行がスムーズに進められるよう積極的に協力する。 ・就職に向けた職場実習体験の送迎をする。法人作業所への就労を勧め、一貫した支援につなげる。	
地域支援・地域連携	・相談員の定期的なモニタリング、学校や医療機関・社会福祉協議会等との連絡を密に行い、本人支援のための情報を共有する。 ・地域の方々との交流を大切にする。（地域ボランティアの方によるイベント、地域のイベントへの参加等）				職員の質の向上	・県主催の研修に積極的に参加。 ・事業所内研修の実施（感染症対策、虐待防止・身体拘束防止、安全対策、災害対策など） ・職員による自己評価シートの作成・評価・改善 ・ヒヤリハット記録を作成・共有し、利用者の安全向上に努める。	
主な行事等	・長期休業では、週2回の体操教室を実施。水泳のプログラムを午後を組み込んでいる。 ・長期休業時や土曜日には、事業所外へ出かけ、いろいろな体験を積ませる。（公園、道の駅、地域の遊び場、電車を利用して商業施設を利用、フードコートで昼食を注文、支払い体験、商店での買い物体験など） ・季節の行事の実施（お正月、お花見、ハロウィン、クリスマス、学期末お楽しみ会など）						